

令和2年度横浜市史資料室 展示会

神奈川区六角橋、農村から街へ ～山室周作日記に見る移り変わり～

横浜市は、令和元年度末現在、推計人口約376万人の巨大都市となっている。人口は、昭和30年代、40年代の高度経済成長期に急増しているが、関東大震災後、橘樹郡などの農村部を合併し、また、工業都市化を進めていった昭和初期にも増加している。これは都心部の過密化と共に合併された近郊農村の宅地化の進行でもあった。

1927(昭和2)年に合併した橘樹郡城郷村もこのような地域のひとつであり、その中でも、横浜市と隣接していた大字六角橋は合併前後から宅地化が進行していた。

山室周作(1886～1951年)は、この六角橋の旧家に生まれ、この時代に当主としてその移り変わりを見、また、城郷村村議や町内会長、横浜市議として積極的に対応していった。そして、その内容は、簡潔ながらも日々の日記に記録していた。

展示では、新たに山室宗作家から提供を受けたこれら日記から、近郊農村から街へと移り変わっていく六角橋を、山室周作の目を通して紹介する。

1 会期等

会 期：令和2年8月22日(土)～10月10日(土)

※ 休室日：毎週日曜日及び横浜市中央図書館休館日

時 間：午前9時30分～午後5時

会 場：横浜市中央図書館地下1階ホワイエ(ホール前)、横浜市史資料室内展示

※ 横浜市史資料室で受付を済ませた後にご入場ください。

所 在 地：横浜市西区老松町1番地

京浜急行線「日ノ出町駅」徒歩5分、JR・市営地下鉄線「桜木町駅」徒歩10分

市営バス103系統「野毛坂」徒歩1分、市営バス89系統「中央図書館」徒歩1分

入 場 料：無料

2 主催／企画運営

主 催：横浜市史資料室

協 力：横浜市中央図書館

企画運営：(公財)横浜市ふるさと歴史財団近現代歴史資料課 市史資料室担当

3 内容／構成

1 はじめに

六角橋の位置(六角橋の概要を地図や図などで)
山室家と山室周作(周作の略歴や日記の概要など)

2 都市近郊農村としての六角橋

大正初期、山室家の農事歴／野菜類の促成栽培／イチゴ・花卉の栽培
都市とのかかわり(販売・肥料)／摘田と植田

3 宅地化へ ～ 関東大震災後・昭和初期

関東大震災／横浜市との合併／市電の開通
県下最初の民間施行土地区画整理／宮面土地区画整理
六角橋公園／諸施設の進出

4 おわりに

4 展示関連講座[事前予約制・参加無料]

山室周作日記に見る大正初期の農業

～ 都市近郊農村としての六角橋 ～

講 師：百瀬 敏夫(横浜市史資料室調査研究員)

会 場：横浜市中心図書館地下1階ホール

開催日時：9月26日(土)午後2時～4時(開場：午後1時30分)

募集人数：20人(応募多数の場合抽選)

申込方法：往復はがき(1枚につき1人まで)に、氏名、住所、電話番号を明記のうえ、郵送にてお申込みください。

宛 先：〒220-0032 横浜市西区老松町1 横浜市中心図書館地下1階
横浜市史資料室

締 切：9月16日(水)必着

※ 講座で手話通訳を希望される場合は9月16日(水)までに横浜市史資料室にご連絡ください

5 取材について

現地取材を希望される場合は、事前に御連絡ください。
(横浜市史資料室担当係長 葉袋(みない) Tel: 045-251-3260)

お問合せ先

総務局行政・情報マネジメント課文書管理担当課長 金川 守 Tel: 045-671-4026